

# ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第185号  
令和4年1月31日



12月定例会を新しい議場にて開催

行政報告	2 ~ 4P
審議したこと・決まったこと	5 ~ 7P
請願・陳情・第3回臨時会	7P
委員会活動	8 ~ 13P
一般質問に7氏が立つ	14 ~ 20P
議会日誌	21P
編集後記	22P

# 行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

## 3回目ワクチン接種

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種の具体的な日程は、2回目の接種を6月までに終わった方は8カ月後の2月中旬から下旬に、8月までに接種が終わった方は4月上旬に、9月までに接種が終わった方は5月下旬に実施する予定である。

方法と場所は前回と同様に希望調査を行い、保健センターと隣のふれあいサロンでの集団接種を考えている。

ワクチンの種類は、2月はファイザー社製、4月がモデルナ社製となる予定である。

## 鴨地谷口地区

### 道路復旧

5月の豪雨により、被災を受けた鴨地谷口地区の道路災害は、約5カ月間にわたり、住民にご不便をおかけしたが、10月に復旧した。

### 豪雨時

に、仁淀川の水位上昇による孤立の危機があることから、災害査定以前から事前協議を進め、可能な限り、早期復旧を目指す。



鴨地谷口地区復旧工事が完了

## 要望活動

国への要望活動は感染症対策を考慮し、関係機関・国会議員等に対し、しっかりとした要望活動を行った。

河川では、仁淀川、物部川、四万十川、高知海岸合同で地域課題の要望を高知県全体として伝えるとともに、日高村独自に日下川の

要望もできた。

国道も、国道33号沿線の自治体が一体となり、高知西バイパス延伸の早期事業化や、地域別の課題等を要望した。

特に、河川・国道ともに、国土交通省だけでなく、財務省にも地域の実情を説明し、要望できたことは大きな成果であった。

## 高知西バイパス開通

12月4日に鎌田ICから波川間が開通し、高知市鴨部からの町波川までを結ぶ、高知西バイパスの延長9.8km区間が全線開通した。

交通混雑の緩和及び所要時間の短縮、救急搬送時の走行性の向上や交流人口の拡大による観光振興など期待される。日高村にとっても、今まで以上にアクセス性の向上は大いに期待して



仁淀川改修期成同盟会が財務省事務次官へ要望活動

いる。

一方、日高村内の課題は、豪雨による路面冠水・慢性的な交通渋滞・災害時など通行止めによる孤立化などは、今回の開通で解消されるわけではなく、より一層の高知松山自動車道のバイパス延伸を加速化することを期待している。

国で現在検討されている、いのから越知間の「計画段階評価」が、どのようなルート帯の(案)が示されるのか、注視していきたい。

## 日高村水害に強い まちづくり条例

日高村水害に強いまちづくり条例の第1回の審議会を11月9日に開催した。

建物床高を規制する「日高村浸水予想区域」の考え方や流域における開発の基準など、専門家の先生をはじめ、不動産など各分野からの知見や、国土交通省・高知県の関係機関からさまざまな意見が出た。令和4年4月施行に向けて、取り組みを進めていきたい。

住民に対する条例の概要説明会を11月15日に開催した。参加者が少なく、周知の方法など大きな課題がある。

今後「日高村浸水予想区

域」における各地権者に対する説明会や、不動産関係者への説明など進め、住民の関心を高めていきたい。

## シニア応援券

日高村シニア応援券、11月30日現在の換金額は41万4千500円、使用枚数は8千249枚で全体の63・5%である。

## 粗大ごみの受け入れ

後期（9月）の粗大ごみの受け入れ量は、合計71・8t、前期を合わせた受け入れ量の合計は141・92t、前年比79・6%と減少した。通常の雑ごみの持ち込みもまだまだあり、持ち帰ってもらった。

福祉収集利用者は、前期6人、後期5人、少しずつ浸透している。自費でシルバー人材センターへ依頼した方は、前期、後期とも25人であった。

## 地域再生可能 エネルギー導入戦略

日高村地域再生可能エネルギー導入戦略について、11月19日に第1回策定委員会を実施した。

策定委員会では、日高村の温室効果ガスの排出状況や将来ビジョン、日高村で導入が考えられる再生可能エネルギー等について説明が行われた。

委員のさまざまな視点か

らの意見を反映した再エネ導入戦略案を作成し、12月20日の第2回策定委員会で完成する予定である。

## SNSで話題に

オムライス街道第8弾のキックオフイベントと観光列車1周年おめでとう！コラボイベントを機にスタートした、日下駅での『観光列車おもてなし』活動が好評で、大きな反響を呼んでいる。

村内外から集まるおもてなしメンバーが、車窓越しに「日高村」をPRしていることが、SNSでも話題となり、乗客による投稿やコメントは5カ月で600件を超えた。

## インフラツーリズム 魅力倍増プロジェクト

日下川新規放水路を活用したインフラツーリズムは、コロナ感染症の影響で再三の延期となったファムツアーでは、村内各地を撮影した映像を有識者に見て



日高村水害に強いまちづくり条例の第1回審議会



日下駅での『観光列車おもてなし』がSNSで話題に

いただき、オンラインで検討会を9月14日に実施した。

有識者からは、オーバートーリズムにならない受け入れ環境の整備やガイドの育成などが必須である。

10月22日にはJTBの方が来村し、提案する観光地を回り、役場や観光協会、河川国道事務所などにヒアリングを実施した。これをもとにインフラツーリズムとして可能性のある取り組みを、JTBから提案される予定である。

## 児童生徒の活躍

第61回全国中学校水泳競技大会での飛び込み・3m飛び板飛び込みの部で共に優勝に輝いた日高中学校3年生の瓶子礼智(へいしらいち)さんが、新たに設けられた日高村顕彰・スポーツ栄誉賞を授与した。

第4回びたっこ全国手作りはがきコンテストで307作品の中から1作品のみ選ばれる子ども大賞に、日下小学校2年生の田村春馬さん

作品「こうきゅうぎょタイ」が見事大賞に選ばれた。

加茂中学校1年生の西岡奈々花さんが、第54回受信環境クリーン図案コンクールで特選を受賞し、テレビのコマーシャルで流れている。

11月開催の全国高校駅伝県予選で、日高中学校卒業生の濱口純平さんと田所纏(まとい)さんが、それぞれの学校の選手として出場し、高知県代表で12月に開催する全国高校駅伝大会の出場を獲得した。

また、第41回全国高校生読書体験記コンクールで日高中学卒業生の坂本真緒さんが優良賞に選ばれ、全国コンクールに出品される。

## 3地区に新たな 基地局設置予定

村まるごとデジタル化事業について、KDDI株式会社より沖名・岩目地・能津の3地区に新たな基地局の設置事業が年度内完了で推進している報告を受けた。

また、スマートフォン端末の普及は、取り扱い代理店より、11月15日現在の新規及び機種変更契約件数は、延べ150件(新規127件・変更23件)との報告を受けた。端末の普及、連携事業者の基地局整備といった、通信インフラ施設の整備拡充によって、村の暮らしに新たな価値の創造がなされることに大きな期待を寄せる。

## 寄贈いただく

西内恵美子様より、沖名出身の著名な画家の横山和男さんの絵画「奥入瀬(お

いらせ)溪谷」の寄贈を受け、3階に掲示している。

笹本電機株式会社代表取締役笹本光範様より、本郷地域住民の健康増進及び生きがいづくり等に活用をと本郷ふれあいプラザに卓球台一式の寄贈があった。

## 「土佐の匠」に 大野誠司さんが

### 選ばれる

高知県が伝統的な技能を広めた県内の職人に認定する「土佐の匠」に、日高村で初めて、くわ製造処の大野誠司さんが認定された。

おめでとうございます。今後も技能を研鑽され、日高村の製造業の発展に寄与していただきたい。

## 功労表彰を受賞

横山泰昌議員が20年の長きわたり、議会議員として地方自治の発展と住民福祉の向上に多大に貢献されたことにより、四国地区町村議会議長会功労表彰を受賞した。

心よりお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



「土佐の匠」認定証書の交付を受ける  
くわ製造処 大野誠司さん



横山泰昌議員が四国地区町村議会議長会  
功労表彰を受賞

# 審議したこと

令和3年第4回定例会

# 決まったこと

R3.12.9~12.16

12月議会では、同意（人事）1件、予算関係6件、条例関係3件、その他3件、議員提出議案2件、計15議案と陳情1件の合計16件が決まった。

## 第4回定例会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案・発議案	議員名	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	森下雅文	尾崎政廣	池田雄	戸梶章	議決結果
日高村副村長の選任につき同意を求めることについて 日高村副村長に藤田浩氏を選任することに同意を求めるもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
村税条例の一部を改正する条例 令和3年度税制改正による法律改正に伴う改正（令和4年1月1日以降施行分）。主な改正内容は、「特定公益増進法人」等に対する寄附金制度における寄付金範囲の見直し等を改正するもの。施行期日は令和4年4月1日。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村国民健康保険条例の一部を改正する条例 出産育児一時金の支給額が現行の40万4千円から40万8千円に引き上げるもの。施行期日は令和4年1月1日。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村議会議員及び日高村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について 公職選挙法の改正に伴い、村議会議員選挙や村長選挙における選挙運動用の自動車、ポスター、ビラを公営対象（公費負担）とするもの。施行期日は公布の日。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
大堂地区緊急自然災害防止法面対策工事の請負契約（第3回変更）について 5月から8月間の豪雨及び長期間にわたる降雨の影響により、水路工等の施工が困難となったため、工期末日を令和3年12月28日から令和4年3月25日に変更するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村役場新庁舎耐震性貯水槽設置工事の請負契約（第1回変更）について 庁舎解体等、関係する他工事の工程に遅れが生じた影響により、本工事も工程に遅れが生じるため、工期末日を令和4年3月5日から令和4年3月31日に変更するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村庁舎解体撤去工事の請負契約（第1回変更）について 旧庁舎から新庁舎への引っ越し期間の確保と足場・矢板位置等の工法検討に不測の日数を要したため、工期末日を令和4年1月4日から令和4年3月31日に変更するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村一般会計補正予算（第9号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3,607万7千円を追加するもの。主なものは、ふるさと納税関連事業・子育て世帯臨時特別給付金事業・村の駅ひだか整備事業（大型バス駐車場整備）。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ865万5千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村簡易水道特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,692万円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,204万8千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

審議したこと

決まったこと

第4回定例会

第4回定例会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案・発議案	議員名	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	森下雅文	尾崎政廣	池田雄	戸梶章	議決結果
令和3年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ56万2千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村一般会計補正予算（第10号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2,356万6千円を追加するもの。 主なものは、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業・子育て世帯臨時特別給付金事業。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
【議員提出議案】 日高村議会議員森下芳文君に議員辞職を勧告する決議案		○	○	除斥	●	○	○	○	○	○	議長	可決
【議員提出議案】 保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

人事

◎日高村副村長に藤田浩氏を選任することに同意した。



藤田浩副村長

住所 日高村岩目地  
任期 令和3年12月16日  
から令和7年12月15日

条例

◎日高村議会議員及び日高村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について

質疑

問 公営対象（公費負担）は選挙運動用の自動車だけか。放送設備等は含まれるか。

答 車両のみが対象になる。放送設備や看板は対象外である。

問 またビラは、どの程度の範囲なのか。リーフレットは対象外なのか。

答 候補者が配布できる選挙運動用のビラは2種類以内、1千600枚まで、大きさはA4判である。

問 新たに条例が制定され、状況が変わるので、ある程度時間をとって説明を。

答 新しいことなので、しっかり理解いただけるよう説明する。

質疑

問 旧庁舎の基礎を残すことを要請したが、結論に至っていないか。

答 今年、国から出されたガイドラインの内容にそって対応すれば問題ないとのことから、基礎は残したままで工事をする方向で計画をしている。

決議

◎日高村議会議員森下芳文君に議員辞職を勧告する決議案  
提出議員 尾崎政廣  
賛成署名者 山中鶴幸  
森下雅文  
野村重夫  
西川龍子  
池田雄  
藤原利彦

日高村議会議員森下芳文君に、下記の理由により議員辞職を勧告する。

その他

◎日高村庁舎解体撤去工事の請負契約（第1回変更）について

提案の理由

森下芳文議員の一般質問通告書内容の事実関係に関する調査特別委員会（以下「調査特別委員会」という。）の調査報告書が提出された。

調査報告書にあるように、森下芳文議員は議員として不適切な発言を繰り返して、その度に議会本会議での陳謝や発言の取り消しといったことを繰り返してきた。

最近では、令和元年9月9日の全員協議会での森下芳文議員の発言に関し、政治倫理審査会が立ち上げられ、審査会は、令和2年1月14日に、審査結果を当時の議長に報告している。報告書の中で審査会は、議長の措置に関する意見として、日高村議会議員政治倫理条例第11条第1項第4号の「この条例の規定を遵守させるための警告を行うこと」とを求めた。これを受けて議長は、森下芳文議員に対し、3月5日に文書でもって警告を行っている。これらに加えて、調査特

別委員会の報告書（以下「報告書」という。）は、森下芳文議員の9月定例会一般質問通告書の記述は、事実でない」と判決した。報告書の詳細については触れないが、森下芳文議員の行為は、高知県と日高村議会の名誉を損ない、日高村議会に対する日高村民と高知県の信頼を損なうものである。また議員としてのこのような行為は、日高村議会の品位をも失墜させるものであって、明らかに日高村議会議員政治倫理条例第3条第1項に抵触している。

過去の行為と合わせ、今回の報告書にもあるように、森下芳文議員の責任は、あまりにも重大であり、単なる陳謝で済まされることではない。

森下芳文議員は、議員の職において非違非行を重ねてきており、これらの事実に対して反省がない、とみなさざるを得ない。

したがって、森下芳文議員は潔く辞職し、自らを律することに留意し、出直すことを強く勧告する。よつ

て、ここに森下芳文議員に対する辞職勧告決議案を提出する。



◎保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書

提出者 保育の公的保障の拡充を求める大運動高知県実行委員会  
会長 田中きよむ

採決 全員賛成 採択

◎陳情書（電気工事・機械設備工事の分離発注について）

提出者

一般社団法人 高知県設備協会  
会長 和田富雄

採決 全員否決 不採択



11月22日第3回臨時会が開催され、議案1件が可決された。

◎令和3年度日高村一般会計補正予算（第8号）

質疑

問 宮ノ谷集会所の建て替え事業の委託、また工事の発注は、地方債の適応を受けることから、村が発注することになるか。

答 辺地債を使用して集会所など建てる場合は、村が発注しないと辺地債の対象にならないので、村の発注となる。

問 集会所の完成後は、自治会の方へ移すことになるか。  
答 辺地債の償還が終わるまでは、村の管理でなければ対象にならない。10年償還後に移管することを文書で自治会と約束をしたい。

第3回臨時会議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案	議員名	議決結果
令和3年度日高村一般会計補正予算（第8号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,090万円を追加するもの。 宮ノ谷集会所建替事業。	山中鶴幸	○
	藤原利彦	○
	森下芳文	○
	横山泰昌	○
	西川龍子	○
	野村重夫	○
	森下雅文	○
	尾崎政廣	○
	池田雄	○
	戸梶章	○
議決結果	議長	可決

# 閉会中の委員会活動報告

## 総務常任委員会



委員長 藤原利彦

11月30日（火）午前10時より

### 松岡総務課長より

11月3日、村表彰において3人に功労表彰と2団体に感謝状、1人にスポーツ顕彰を授与した。

11月14日、保健センターで防災訓練を行った。

新庁舎外構工事の日程が延びたため、庁舎解体撤去工事の日程も変更する。

### 森下教育次長より

四国受信環境クリーン図案コンクールで加茂中1年

山崎企画課長より  
補助事業の取り組みとして、光り輝く子育て応援金と日高村補助金2件を予定している。

生の西岡奈々花さんが特選を受賞した。

日下小2年の田村春馬さんが全国手づくりはがきコンテストで大賞に選ばれた。

西高校在籍の坂本真緒さんが読書体験記において優良賞を受賞した。

ふるさと納税は1億円の寄付を見込んでいたが、テレビ放送のおかげか、芋けんぴが大幅に増加し5千400万円の補正を計上した。

KDDI(株)よりエリア拡大をすべく3カ所の基地局を増設する意向である。



第43回日高村表彰式開催

### 今井住民課長より

マイナンバーカード交付実績は11月1日時点で1千830件、申請率は36・7%、交付枚数は1千566件（交付率31・4%）となった。  
納税通知書等コンビニ交付は特に問題もなく、来年4月の交付に向けて準備を進めている。

## 経済建設厚生

### 常任委員会



委員長 西川龍子

12月1日（水）午前10時より

### 谷協健康福祉課長より

1. 新型コロナウイルスの  
3 回目接種と笹本電機株式会社代表取締役笹本様より本郷ふれあいプラザ



NPO法人日高わのわ会が日高村補助金を活用し「日高メシふえすていばる」を開催



に卓球台1台の寄贈があった。

2. 今議会提案予定の補正予算について報告があり、県の補助2分の1を受け3カ所の忠霊塔の耐震検査の委託料他を計上していると報告があった。



笹本電機株式会社代表取締役  
笹本様より寄贈の卓球台を活用し健康づくり

1. 藤岡産業環境課長より  
村の駅ひだかの販売状況。

2. 大型粗大ごみ受け入れ状況と福祉収集の状況。

3. 日高村シニア応援券の利用状況。

4. 日高村地域再生可能エネルギー導入戦略等策定委員会について。

5. 日高村インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト検討委員会の状況。

6. オムライス街道の取り組み状況と観光列車おもてなし活動の取り組み状況等の説明と、今議会提案の補正予算について報告を受けた。



耐震検査を予定している日下忠霊塔

委員会の質問に、村の駅ひだかの駐車場の面積が倍以上になり整地や水路の補修、線引き等がある。

今年度中の完成を目指す  
と説明があった。

前田建設課長より  
村内の工事16件、国県の工事分7件の写真資料にて説明を受けた。要望活動や能津地区の地域優良賃貸住宅、江尻親水公園の状況説明を受ける。

委員の質問に、庁舎や消防の解体・建設についての苦情、及び入札不調、親水公園等について意見があり、それぞれ説明を受け、閉会した。

山崎企画課長より  
一般社団法人能津未来について、10月22日に第1回臨時社員総会を開催し、令和3年度上半期収支報告及び下半期の事業計画について、承認・決定がされた。

上半期報告では、施設全体集客として3千560人を集客するとともに

日高村振興対策  
特別委員会



委員長 池田 雄

11月30日(火) 午後1時  
30分より

に、月別集客平均値は593人であった。沿線国道が対岸にあっても、施設のPRや運営の工夫しだいでは、地域外よりの外貨を得ることができると確認することができた。今後の経営について、地元中心に人材を開発して活用するなど、日常的に活発な経営を目指す努力を継続していく。

J A 能津給油所は高知県農協より、既存施設・土地部の村に対する寄付の意向が伝達され、能津地域の燃



柱谷地区バイパス工事  
橋梁上部工

料事情を鑑み、この寄付の申し出を受諾する方向で調整中である。

前田建設課長より

村道庄田伊野線について、柱谷地区バイパス工事は、橋梁上部工の施工を進め、令和4年内の供用開始を目指している。

中名越屋地区の村道改修工事は施工中である。

日高村治水対策特別委員会



委員長 尾崎政廣

11月30日(火)午後2時30分より

西村治水対策室長より

1. 前回委員会(8月25日)以降の取り組み状況

①仁淀川水系流域治水協

議会の鎌田井筋流域部会を9月3日にWEB会議を開催し、鎌田井筋治水対策の検討状況について認識共有を行った。

②日下川新規放水路ファ

ムツアー意見交換会を9月14日に実施した。

③10月22日、日下川新規

放水路インフラツアー

ズム関係者にツアーの

実施に向け運営体制に

ついて協議をした。

④10月27日、岡端地区の

JR下の排水路改築工

事について地元説明会

を開催した。

⑤四国地方治水大会を10

月29日にWEB会議で

実施し、治水事業の概

要説明や大洲市の意見

発表、大会決議を行っ

た。

⑥佐川町と11月8日、25

日に特定都市河川浸水

被害対策法について協

議した。

⑦第1回日高村水害に強

いまちづくり審議会を

11月9日に開催し、本

審議会設立の経緯と目

的及び当面審議すべき

事項について協議した。

⑧日高村水害に強いまち

づくり条例住民説明会

を11月15日に実施し

た。

⑨四国地方流域治水シン

ポジウムが11月19日に

開催され、「地方特性

を踏まえた流域治水を

考える」のパネリスト

として戸梶村長が意見

発表した。

⑩日下川改修期成同盟が

10月21日に地方整備局

へ要望活動を行った。

2. 床上浸水対策特別緊急

事業工事進捗状況

①国事業 放水路工事

(呑口側・吐口側)・導

水路工事

②県事業 河川改修・残

土処分場状況

③村事業 馬越南地区工

損事後調査・日高村水

害に強いまちづくり条

例施行に向けて

3. その他工事等

①大規模特定河川事業

県単河川改修等

②緊急自然災害防止対策

事業(日高村)

・竜石地区排水ポンプ

設置工事・土木工事

・土讃線日下・岡花間

145k137m排水路改築

工事

4. その他

①仁淀川流域学識者会議

を12月1日に開催し、

仁淀川水系河川整備計

画の進捗状況の点検及

び事業再評価等につい

て協議した。

②長竹川河川改修事業住

民説明会を12月1日に開催した。

③中の谷地区協議会を12

月6日に実施し、新規

放水路の進捗状況及び

中の谷川河川改修、鎌

田井筋治水対策につい

て協議した。

④12月20日、第2回日高

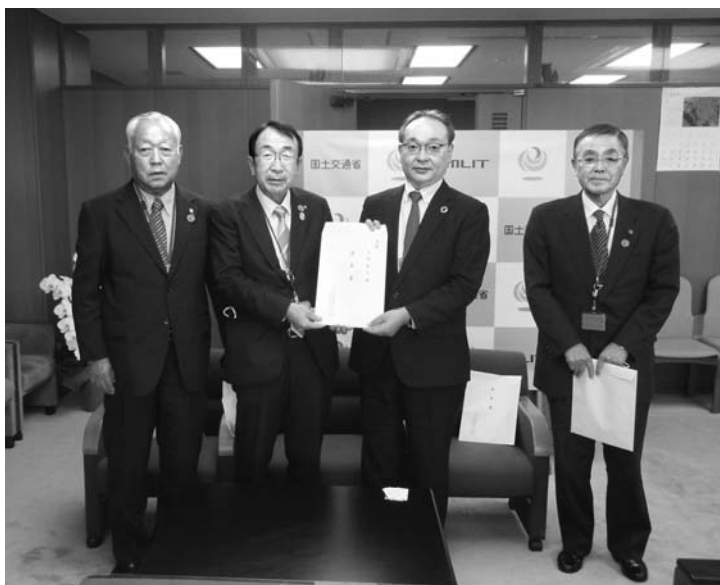
村水害に強いまちづく

り審議会を開催予定。

⑤12月23日に仁淀川水系

流域治水協議会を開催

予定。



国土交通省へ日下川改修期成同盟会が要望活動

## 森下芳文議員の一般質問通告書内容の事実関係に関する調査特別委員会



委員長 野村重夫

森下芳文議員の一般質問通告書内容の事実関係に関する調査特別委員会開催日

第1回 9月10日  
第2回 9月28日  
第3回 10月22日  
第4回 11月22日

### 調査報告書

#### 1. はじめに

省略

#### 2. 特別委員会設置までの経過

経過

省略

#### 3. 調査の経過

省略

#### 4. 調査の結果

特別委員会は、10月22日の森下芳文議員に対する質疑の内容や、平成24年8月から12月にかけての経済建設厚生常任委員会の会議録、高知県中央西土木事務所からの5回にわたる報告書他の、各資料を詳細に調査検討した結果、以下の結論を得た。

##### (1) 森下芳文議員の一般質問通告書について

一般質問の中では、森下芳文議員は、実際には通告書のとおりには発言しなかったが、森下芳文議員の「森下芳文議会だよりNO63」には、通告書の内容そのままが掲載されており、議会運営委員会での質疑の中でも、「事実を違えているところはない」と答弁していることから、森下芳文議員の一般質問通告書内容の事実関係に関する調査特別委員会（以下「特別委員会」という。）は森下芳文議員の一般質問通告書の内容を、本議会では、発言しなかったとしても、これら

の行為は、発言したものと同様とみなすべきであり、一般質問通告書に書かれていることが事実であるかどうか、真実を究明すべきであると判断した。

##### (2) 究明すべき事実

①(沖名残土処理場の)排水施設が、かなり小さな施工で、地元住民の指摘を受けて手直ししたり、という記述について。何を根拠にこのような主張をしているのか判然としないが、沖名残土処理場は、高知県が設計し施工したものである。確かに工事の途中で、降雨や軟弱土質に伴う土圧で、縦排水路等が損壊したことがあり、これを修理した事実はあるが、高知県の受け取り前の施工であったものの、これが小さな施工によるもの根拠は全くない。皆さんの施工であったと主張するのであれば、それが立証されなければならない。

森下芳文議員は9月定例会での一般質問通告書に、このような通告内容を記述

したことについて、「それは他でもありません。熱海の問題が出てきたから、熱海の盛土における、ああいう事故が起きたから」と熱海市の土石流を、通告書で主張をした理由としているが、マスコミの報道によれば、熱海市の土石流は、当時土石流の起点となった土地を所有していた不動産管理会社が、不適切な行為を繰り返して、平成21年当時の計画書では盛土の高さを15mとするというものであったものが、実際には50mに達していたり、静岡県や熱海市から再三にわたる行政指導を受けていたのに、搬入した盛土に産業廃棄物などの混入を繰り返した上に、排水設備が未設置であった疑いもある、という状況の中で発生したものであって、静岡県警は長期間にわたり不適切な盛土が続いていた疑いがあることから、10月に当時の不動産管理会社の関係先の強制捜査に入っている。

沖名残土処理場は、このような熱海市の例とは違

い、高知県が設計して工事を発注したものであって、高知県がその監理も行っているが、その事実は当然に森下芳文議員も承知しているにもかかわらず、熱海市の例と沖名残土処理場を同列に論ずることには、非常に無理があると言わざるを得ず、あえてそれを行おうとする場合には、何か別の意図があるものと推定せざるを得ない。

②産業廃棄物が混入しているという指摘に、20カ所を調査する約束が5カ所でやめたり、その5カ所すべてから産業廃棄物が混入していたにもかかわらず調査は打ち切られ、という一般質問通告書の記述について。

20カ所を調査するということは約束ではなかった。平成24年10月3日の経済建設厚生常任委員会での大川内建設課長の発言にあるように「高知県中央西土木事務所からの申し出」であり、この申し出は日高村に対して行われたものである。

掘削調査する箇所を5カ

所にするということも、経済建設厚生常任委員会が当日の現地視察を経た上で、経済建設厚生常任委員会の論議の中で、当時の壬生委員長が、掘削調査は5カ所で行う、と意見集約している。

村は、経済建設厚生常任委員会の意向を高知県中央西土木事務所へ伝え、これを受け入れた高知県中央西土木事務所は、試掘候補箇所5カ所を提示したが、村より、5カ所のうち3カ所を地元の方の希望する箇所に変更するように要請し、3カ所は地元の方の要望に沿った箇所となった。

このことは、森下芳文議員も承知していたはずであり、したがって20カ所を5カ所に変更したことが、あたかも高知県の意向であるかの表現は、事実ではない。

平成24年11月12日に指定された5カ所の試掘が行われ、経済建設厚生常任委員会の委員全員が、掘削調査に立会した後、日高村商工会2階会議室において、委員全員と議長、副村長、建

設課長・補佐、産業環境課長・補佐、健康福祉課長の出席のもと委員会を行った。

この際、高知県中央西土木事務所長、次長、担当課長がオブザーバーとして参加している。

経済建設厚生常任委員会において、立会した際の感想や意見を出し合った結果、委員長が、掘削した土の中に、ブルーシート・土のう袋の切れ端、杭や木片があつたが、工事の内容からすれば、許容範囲である、と結論付けた。この経済建設厚生常任委員会の結論について感想を求められた高知県中央西土木事務所長は「村のご判断が1番重要だと思えます」と答えている。つまり、高知県中央西土木事務所長の発言は、試掘の結果、異物の混入が確認されたが、これは許容範囲だとした経済建設厚生常任委員会の判断を尊重する、という発言に過ぎない。

一般質問通告書には「調査は打ち切れ」と記述して、あたかも調査を高知県

の判断で打ち切ったように書かれているが、高知県は経済建設厚生常任委員会の意向を尊重して、調査を終了したものである。

森下芳文議員は、その「森下芳文議会だよりNO63」の、16ページの「解説」の中で、「日高村としては、この問題で工事が遅れることを極端に心配し、問題点の究明よりも、工事の中断なく完了することを最優先にした」と書いているが、一般質問通告書の記述と合わせ、事実に基づかず村や議会、高知県を誹謗するものといえる。

沖名調整池の早期完成を、村や議会、高知県が熱望していたことは事実であるが、「問題点の究明よりも、工事の中断なく完了することを最優先にした」事実はない。

森下芳文議員からの特別委員会での聞き取りの際、委員から、これほどの疑問を持っていったのであれば、当時の議会での経済建設厚生常任委員長報告に

対して、疑問とするところを問うべきであつたし、なぜそれをしなかつたのか、との質問に「ひとりふたりが反対しても押し切られるという状況で覆る状況があるなら、私もあえて言いますが、私もあえて言いますが、覆らんあという思いから無駄な抵抗はしなかつた」と答えている。

しかし、議会は言論の場であり、成否は別にして、村民のため正しいと思うことを発言することは、議員の義務といえるのではない。この発言は、言わなければならぬときに言わなかつたことを繕うものでしかない。

③当時の高知県は、責任逃れに多数を占める委員会勢力を利用して、問題なことの結論を出させて蒸し込んでいく、という一般質問通告書の記述について。

森下芳文議員は、当特別委員会での聞き取りで「委員会勢力とは誰を指すのか、委員会勢力を利用して結論を出させたのは、県の

誰なのか」との問いに「この委員会（平成24年11月12日の経済建設厚生常任委員会）に出て1番明確に言うちゅう。村のご判断が1番だと思えますという、当時の所長が村で判断してくださいということ、言うてきちゅうがです」「蒸し込んでくれと、1番村の判断が1番だと思えますということ、はつきり言うちゅうでしよ」と答え、問題ないとの結論を出させたのは、高知県中央西土木事務所長が出させたということかとの問いに「この意見を村のご判断が1番重要だと思えます、というこの言葉をみたら、そのままでしょう」と答えている。

つまり、平成24年11月12日の経済建設厚生常任委員会にオブザーバーとして出席していた高知県中央西土木事務所長が、経済建設厚生常任委員会の結論、すなわち処理場の試掘をした結果、土の中にブルーシート、土のう袋の切れ端等の混入があつたが、それは「工事の内容からすれば許容範囲

「だ」とする経済建設厚生常任委員会の結論への感想を求められた際に、「村のご判断が1番重要だと思います」と答えたことが、「当時の県は責任逃れに、多数を占める委員会勢力を利用して、問題ないとの結論を出させて蒸し込んでいる」ということの根拠だということである。「委員会勢力」というのは、当時の経済建設厚生常任委員会とみなされるが、当時の常任委員会のメンバーの誰ひとり「問題ないとの結論」を出すように高知県から要請された事実はない。

これは、驚くべき論理のすり替えであり、村議会議員の行為としては許されることではない。森下芳文議員は、通告書の内容を「森下芳文議会だよりNO63」という冊子に書いて、村内へ配布しており、その中で通告書の内容に付け加えて、「この通告内容にクレームをつけてきたが、事実に戻すことは何もないと突っぱねました」と書いているが、すでに述べてきたよう

に通告書の内容は「事実に戻すこと」であって、森下芳文議員は、このような虚偽の内容の通告書を議会に提出し、冊子にして村内に配布し、さらに「事実に戻すことは何もない」と強弁しているが、日高村議会は「事実に戻す」疑いが濃厚であればこそ、事実を究明するために特別委員会を設置したのであって、森下芳文議員のこれらの行為は、結果的に日高村及び村議会、高知県に対する村民等の信用と信頼を大きく損なうものであって、その責任は重大である。

この事件は、戸梶川流域の沖名調整池の建設に伴う沖名残土処理場をめぐるものである。

沖名調整池は、日下川鹿児調整池に続く村内2つ目の調整池であって、1つの自治体に高知県管理の調整池が2カ所も設置されているというのは全国にも類例が少なくない。

日下川・戸梶川の治水は、300有余年にわたって水害に悩まされ続けてきた流域住

民の、多年にわたる悲願であった。長年にわたって日高村と本議会は、県・国に對し治水のための要望を行ってきた。その概要は、日下川・戸梶川の改修と調整池の建設であったが、高知県の多大の努力と国の理解を得て、日下川鹿児調整池に続く沖名調整池がようやく実現することになった。

沖名調整池の掘削には、残土処理場用地を確保しなければならぬが、地権者と地域住民のご協力を得て、残土処理場も確保できた。当特別委員会はここで

改めてご協力いただいた地権者と地域住民の皆様に感謝の意を表したい。また、河川改修と沖名調整池実現のために努力をしていただいた県・国にも改めて感謝を表明するものである。日高村議会は、根拠のない、事実でないことで、沖名調整池完成に尽力していただいた高知県を中傷するような行為は容認できない。

沖名残土処理場は高知県が設計し、施工し、監理を

行った。完成後、村に移管され、現在こうち・ひだかメガソーラー株式会社ソーラーパネルを設置して稼働しているが、平成26年の豪雨にも耐え、安全性が立証されている。

日下川には、平成26年豪雨の被害を受けて、3本目の新規放水路工事が進捗中である。日下川・戸梶川の河川改修と合わせ、新規放水路が完成すれば、日高村は300有余年の水害の軛（くびき）から、ようやく解放されるのではないか。

## 5. 調査の結論

今まで検証してきたように、当委員会は森下芳文議員の9月定例会一般質問通告書の記述は事実ではないと判決した。

森下芳文議員は、9月定例会での一般質問においては実際には、この通告書どおりには発言しなかったのであるが、同一の内容を「森下芳文議会だよりNO63」という冊子に記述し、村内各戸に配布しており、当特別委員会での聞き取りに対し

ても、「事実を違えているところはない」と答えているところから、議会での発言と同様とみなすこととした。

先に述べてきたように森下芳文議員のこのような行為は、日高村民と高知県の、日高村及び日高村議会への信用と信頼を、大きく損なうものであり、その責任は重大である。

森下芳文議員は、これまでも過去数回にわたり不適切な発言を繰り返し、議会本会議で陳謝するといったことを繰り返してきたが、今回の一連の行為の責任は、あまりにも重大であり、単なる陳謝で済まされることではない。森下芳文議員は自ら身の処し方を律するべきである。

以上、森下芳文議員の一般質問通告書内容の事実関係に関する調査特別委員会調査報告とする。

一般質問に7氏が立つ



藤原利彦議員

ライスセンター  
存続について

質問 利用者へのアンケート結果も出ていると思うが、その後、何か進展はあったか。

答弁 藤岡産業環境課長 対象者78人の内、58人の回答があり、55人が継続を希望している。業者と修理施工費について検討中であり、継続に向けて利用料金を再度試算して説明会を開催する予定である。行政としても利用料金については、1千500円以内となるよう改修内容を吟味し、何らかの支援を検討していく。

残渣処理場を  
造れないか

質問 植物残渣は産業廃棄物となり、循環型農業を進めていく上でも、処理場は必要な施設だと思う。高額な処理費用(2年度440万円)を考えれば、処理場建設も考えていく

べきではないか。  
答弁 藤岡産業環境課長 堆肥化による有望な有機資源だと考える。残渣を堆肥化し、圃場へ使用する

と、病害虫が発生するなどの問題があり、検証の必要がある。処理施設建設となる



堤防のかさ上げと川床の掘削工事が予定されている六所橋からの下流部

佐川町産廃施設  
建設による  
長竹川改修の件

質問 長竹川が改修され、六所橋が拡幅されると、降った雨が一気に下流へ

流れると住民も危惧しているが、何か対策は聞いているか。  
答弁 前田建設課長 筋違橋から長竹川合流地点までの間で、堤防のかさ上げや河床の掘削を、令和4年度から工事に着手する。

平成26年の豪雨が来た場合でも、堤防からあふれることはないと思われている。

3回目の  
ワクチン接種

質問 3回目のワクチン接種の時期と方法は。また未接種の人への対応は。

答弁 谷脇健康福祉課長 2回目の接種を3年6月までに受けた方は4年2月から、8月までに受けた方は4月上旬、9月までに受けた方は5月下旬に実施する予定で、前回のよう

その他の質問事項

- 燃油高騰による影響
- みどり戦略実現への新法
- 農地パトロール
- 脱炭素宣言
- 他20件

# 国道33号

## 混雑への対応を



森下雅文議員

**質問** 西バイパスが波川まで開通したが、村内の混雑は朝晩が顕著だ。解消策であるバイパス延伸の見通しはどうか。

**答弁** 前田建設課長

12月9日に、第2回社会資本整備審議会道路分科会四国地方小委員会が開催され、3つの比較ルート帯案等が提示されたことで、新規の事業化に向けて一歩進んだと考えている。  
第3回の小委員会では、どのルート帯案にするかが決定されると聞いている。



役場前の交通渋滞

**質問** 国道の混雑は、父原・役場前・大橋・県住前の信号を連動にし、小村と波川の信号を連動にすれば、ある程度解消ができるのではないか。要望してみてもどうか。

**答弁** 松岡総務課長

県警によると、連動が可能な信号機への交換も含め、連動のパターンを複数試して、改善に向けた対応をするとのことだ。

## 江尻親水公園の

### 活用を

**質問** 当初の計画にあった、親水公園へのパークゴルフ場の併設は取りやめとなったが、活用策を新たに検討してはどうか。

**答弁** 前田建設課長

いの町の波川地区にも、江尻と同様の計画が策定され登録された。流域全体を考えた再検討が必要と考えている。  
いろいろな企業からの提案も含め、地元組織などと一緒に、親水公園の活用策を検討していきたい。

## 高齢ドライバーの

### 事故対策

**質問** 高齢ドライバーの免許自主返納を促す取り組みを考えてはどうか。  
返納者への移動支援として、デマンドバスの便数の増や、電動車購入への補助等を検討できないか。

**答弁** 山崎企画課長

デマンドバスの車種や台数運行方法等について、現在検討している。  
**答弁** 松岡総務課長  
自主返納の機運を高めることは必要だ。返納後の移動支援について、一時的あるいは継続的な支援とするか、電動車のことも含め、検討したい。

## 新型コロナウイルス 接種について

**質問** 5歳から11歳までの、新型コロナウイルス接種の見通しは。

**答弁** 谷脇健康福祉課長  
1月上旬から接種希望調査を行い、接種時期については、他市町村の動向や安全性を踏まえ、決めたい。

## 子宮頸がん ワクチンの勧奨は

**質問** 厚労省は子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨を、来年度に再開することを決めたが、村の対応は。  
**答弁** 谷脇健康福祉課長  
来年度、接種の案内とともに予診票等を同封し、対象者81人に個別に通知する。中止していた間の対象者161人にも行う予定。

## その他の質問事項

- 3回目のブースター接種の見直し
- 学校での感染症対策
- 学校教育でのICT機器の活用
- ふるさと納税
- 水道管の経年化比率・更新率・耐震適合率
- 他25件



池田 雄議員

# 新規放水路の 工事状況

質問 建設が進んでいる新規放水路の工事状況について。

答弁 前田建設課長

令和3年11月15日現在、呑口側の導水路工事、日高村側の正面スクリーンは間もなく完成する。掘削作業は概ね完了しており、徐々に完成の形が見え始めている。

質問 完成の時期とそれに伴うタイムスケジュールについて。

答弁 前田建設課長

令和4年度中の完成との報告を受けている。式典については、工事が進む中で具体的な話が聞けるのではないかと。

## 能津保育園分園 建設工事の影響

質問 能津保育園分園建設時の水道管引き込み工事における舗装段差について。

答弁 前田建設課長

県中央西土木事務所と舗装修繕の方法を協議し、準備を早急に進め、工事は村が対応する。

## J A高知県能津 給油施設等の譲渡

質問 J A高知県能津の給油施設等について、村に譲渡する方針と聞いているが、その後の状況を聞く。

答弁 藤田副村長

J A高知県としては、能津事業所の給油施設や店舗等の建物と土地を、村に寄贈したいとの意向である。12月末をめどに寄贈を受ける予定である。今後については、地元企業と協議して、具体的な話を進めていく。



J A高知県から寄贈を受ける能津事業所

## 小学校の教科担任制

質問 小学校の教科担任制について、教科は確定したか。

答弁 吉岡教育長

英語、算数、理科、体育と決定している。

質問 日下小学校、能津小学校において、どのような体制で取り組むのか。

答弁 吉岡教育長

教科担任制は小規模校での実施は難しい。複式での実施は無理があると考えている。

国の想定は、都市部の大規模校での実施であり、国費の加配があった場合は実施。小規模校はできる範囲で実施。日高村は該当が難しいと考えている。

## 要望活動の成果

質問 行政報告の中で述べている国への要望活動においての大きな成果とは何か。

答弁 戸梶村長

主計局、事務次官に直

接訴えることができたことである。

これは今までなかった成果であり、国道33号について直接訴える機会ができたことが、大きな成果ということである。

## 近隣自治体との 組織化

質問 高知西バイパス延伸及び能津トンネル建設に向けた近隣自治体との組織化に向けて行動を起こす時期ではないか。

答弁 戸梶村長

高知西バイパスの延伸については、国道33号期成同盟会が一体となつて、要望活動を展開する以外にない。

能津トンネルについては、村単独の期成同盟会はあるが、県の協議会には入れない。2町村以上があれば、県の協議会に入る。いの町にも協議会へ加盟していただき、一緒に行動してもらって進めたいと考えている。



# 暮らしを守る村政を



野村重夫議員

## 第2期高知県国民健康保険運営方針

**質問** 国保税の徴収状況問題で、第2期高知県国民健康保険運営方針が出されている。

2021年4月1日から2024年3月31日までに関係者で県内の国保税(料)の統一を目指した議論を行おうとしている。日高村は、県内の国保税の統一をどう思うか。

**答弁** 戸梶村長

国民健康保険の県一、国民健康組合のかたちを要望したのは、市町村である。国保制度を守り、財政基盤の強化を図ることと始めた。

そういう意味では、県一の保険料が統一されることは望ましい。給付についても各市町村によって、その取り扱いが違うので統一しないと保険税(料)の統一にはならないと考えている。

## 国保税(料)値上げにストップを

**質問** 県一になって国保税(料)を値上げしている市町村がいくつかある。

日高村は10年以上値上げせずにがんばってきた。基金を当てても値上げをしないで運営していくべきだ。国保の基金は、

**答弁** 今井住民課長

国保の基金の積立額は、令和2年度末までに8千804万円となっている。

**答弁** 戸梶村長

県の標準保険料が年明け1月には示されるので、2月の国保運営協議会に諮っていきたい。

基金の充当は、当初の県一化に合わせて、標準保険料に近づけていくための経過措置的に税負担の軽減を計画的に取り崩していくことを考えていた。本年以上の税負担が見込まれる場合は状況に応じて充当していく考え方で、国保運営協議会に諮っていくことになる。

## 河川改修(長山田川)

**質問** 河川改修(長山田川)はかなりの土砂で埋もれ

雨期になると、床上浸水まで心配されているが。



浚渫が待たれる長山田川

**答弁** 前田建設課長

県の河川管理のうち、特に長山田の浚渫については、県に確認しているが、令和4年度に詳しく調査して、その後対応を検討すると報告を受けている。

**質問** 日高村全体の県河川管理の計画はどうか。

**答弁** 前田建設課長

井峯川の下流部、戸梶川上流部、それと渋川川の洗掘箇所については根

掘対策をするという聞いています。

令和4年度には、長山田川と石田川の河川について、詳しく調査をして対応を検討することや井峯川の上流部、猿田川の2カ所の浚渫を計画していると聞いている。

## 道路舗装

**質問** 村道の補修の計画はどうか。

**答弁** 前田建設課長

村は舗装の個別施設計画を作っている。この計画に基づいて、特にその破損が厳しい箇所から修繕を計画的に行っていく。

## その他の質問事項

○コロナ第6波に備えて新方針

# 年内に現金一括給付を



西川龍子議員

**質問** 報道によると、県内自治体のほとんどが、年内一括現金給付となる。日高村も、ぜひとも要望するが。

**答弁** 戸梶村長

内部協議を行い10万円一括を、年内に現金支給する方向で、調整を進めている。

## 学校組合における政策について

**質問** 報道によると、今議会、佐川町長選の公約で、

小中学校の給食費の無料化を推して当選された町長が、今年4月より無料化すると発表があった。

組合議会の中で、不公平感が生じないよう理解を求めていくとあった。同じ学校に通う佐川町と日高村との政策の差が出るが考えは。

**答弁** 戸梶村長 給食の無料化は村全体の問題であり、佐川町側と政



給食を食べる児童(加茂小学生)

策の違いはある。保護者の理解をいただかないと、学校組合の運営は成り立たないと考える。加茂地域の方々が、いろいろ考えるところもあると思うが、来年度当初予算に向けて検討するが、子育て政策の中の優先順位は、今のところ高くない。

## 安心の子育て支援を

**質問** 育児に役立つ情報満載の子育てアプリの配信をスマートフォンやタブレットを使い実施する自治体が多くなった。

なかには動画を使った沐浴の方法や離乳食の作り方などの配信、市町村の育児関連情報もある。日高村でも子育てアプリの導入は。

**答弁** 谷脇健康福祉課長

現在、高知県が子育て支援として、こうちプレマnet(出産・育児応援サイト)を立ち上げている。この中には、子育てや妊娠、いろいろなお役立ち情報が入っている。日高のイベント情報や子育て情報等の掲載ができるもの、子育て支援に役立つものがあればと考える。



親子で楽しむクリスマス会

ている。使い勝手も検証し、検討していく。

## その他の質問事項

- 新型コロナウイルスワクチン等について
- 期日前投票について
- コンビニでの住民票等の取得について
- 高齢ドライバーの対策
- 村内トイレの洋式化について

# 住民本位の

# 発想を



森下芳文議員

## 庁舎西側道路の対応

**質問** 行政報告で、「毎日の生活への直結することへの配慮が足りなかった」と述べているが、住民からすれば、見直してできるものなら、最初からやってもらいたいとの思いが残ったと思うが、村長の考えを聞く。

**答弁** 戸梶村長  
やはり丁寧な説明は必要と思う。



一方通行での通行が可能となった  
役場庁舎西側道路

## 河川浚渫

**質問** 県管理河川の浚渫、井峯川の浚渫時期は。

**答弁** 前田建設課長  
令和3年度にJ.Rから下流について、浚渫する。

## 村の駅ひだか駐車場

**質問** 村の駅ひだか駐車場は年度内完成するか。

**答弁** 藤岡産業環境課長  
年度内完成を目指して最善を尽くす。

## ひだか広報の在り方

**質問** 広報に載せておけば、村民にすべて伝わると認識していないか。伝え方の工夫が必要では。

**答弁** 松岡総務課長

特に重要なお知らせについては、IP告知端末やラインによる併用も職員に徹底する。

## 掲示物の在り方

**質問** 「村民に読んでほしいと受け取れない」との苦情は伝えていたが改善したか。

**答弁** 松岡総務課長  
苦情が寄せられる状態であったことは申し訳ない。今後も定期的に確認していく。

## 水害に強い

## まちづくり条例

**質問** これまでの到達点と、今後の課題を村民に明確にしていく必要があるのでは。

**答弁** 戸梶村長  
議員さんも、私も一緒である。過去の災害に学びながら、条例が完成形ではないので、足りないところは補いながら、生きたものにしていく。

## 高知西バイパス

## 波川以西

**質問** 波川までは開通したが、日高はいのののの舞いをしないように、今後のルート決定には注視を。

**答弁** 戸梶村長  
議員さんが言われたように、日高を素通りするルートは避けて要望していく。

## ポイ捨て禁止条例

**質問** 制定して何年になる。

**答弁** 藤岡産業環境課長  
平成24年4月1日施行。9年が経過している。

**質問** 来年は10年の節目、成果の見える取り組みを。

**答弁** 藤岡産業環境課長  
条例の目的や内容の周知啓発を行うなど、地道な取り組みを続ける。



山中鶴幸議員

# JA能津出張所 ガソリンスタンドの継続を!

**質問** JA能津出張所の閉所は、地域振興を後退させる。ガソリンスタンドの閉鎖は、地域の死活問題である。

出張所の業務とガソリンスタンドの運営を集落活動センター「ミライエ」の活動に組み入れる。あるいは、民間委託をし、村が支援できることは支援を行い継続を図るべきと考えるが。

**答弁** 山崎企画課長

JAより、廃止後の事業所の土地建物は、村に寄付が示され、能津地区集落活動センターによる給油所購買施設の運営を社団法人能津未来に諮ったが、十分な回答に至らなかった。

これらの経過も踏まえ、地元の企業に給油所と購買店舗の継続に、慎重な検討をいただいております。村も運営存続の支援を尽くしていく。

## 沖名石田川の整備を

**質問** 沖名石田川上流部はコンクリート三面張りの大きな河川断面積に整備されているが、下流部は、

整備されず、河川断面積が極端に小さくなっている。

大雨や台風での洪水時に、流水が滞留することで村道が1カ所冠水する。上流からの流出土砂も堆積し、葎が生い茂る状況であり、河川整備と土砂の浚渫を早急に。

**答弁** 前田建設課長

令和4年度、県が詳細な調査をし、浚渫については対応方針を決めると聞いています。

また、断面が狭く、河川から水が溢れて、村道が冠水する部分があり、こういった対策ができるか、県の方とも協議をする。

## 村道長畑鴨地線の早期整備を

**質問** 村道長畑鴨地線の改



整備が待たれる石田川未整備区間

良整備は、鴨地区の開道之碑までは整備され、未改良部分もあと少しとなっている。開道之碑より上流の谷口地域と大堂・白髭地域までの改良整備計画は。

**答弁** 前田建設課長

来年度以降、江尻妹背峠線は、江尻地区残土場から上の道路改良工事に着手し、工事費も多額で工期も長期となり、従前のように道路改良を進めることができない状況で

ある。  
長畑鴨地線の未改良区間は、狭い部分については、大きな改良が終わった後、検討を進めなければならないと考える。

**質問** 江尻妹背峠線が、終了してから本格的に取り組むと考えたらよいか。

**答弁** 前田建設課長

江尻妹背峠線の全線開通は、令和11年くらいと計画をしている。この間、他の路線は改良工事を進めることはできない。

ご指摘の箇所は、非常に狭い場所であり、特に谷口地区は、災害もあり、狭い部分については、改良しなければならぬ。江尻妹背峠線の改良が終わった段階で、どこから改良を始めるか検討する。

## その他の質問事項

- 奨学資金償還の支援で、移住・定住の推進を
- 耕作放棄地対策で一次産業活性化を

議  
会  
日  
誌

10  
/  
1

村表彰審査会  
戸梶議長・藤原

12

議会広報発行調査  
特別委員会  
西川・尾崎

森下(芳)・池田  
藤原・戸梶議長

14

仁淀川・日下川改  
修期成同盟会要望  
活動  
戸梶議長・尾崎

19

日高村地域再生可  
能エネルギー導入  
戦略策定委員会  
西川

21

仁淀川・日下川改  
修期成同盟会要望  
活動  
戸梶議長・尾崎

例月現金出納検査  
森下(雅)

22

森下芳文議員の一  
般質問通告書内容  
の事実関係に關す  
る調査特別委員会  
野村・尾崎

25

日下川期成同盟会  
要望活動  
戸梶議長・尾崎

国道33号整備促進  
期成同盟会要望活  
動  
戸梶議長

27

定期監査 森下(雅)

11  
/  
1

高知県戦没者追悼  
式  
戸梶議長

3

村表彰  
池田・尾崎

森下(雅)・野村  
西川・横山  
森下(芳)・藤原  
山中

9

日高村国民健康保  
険運営協議会研修  
会  
西川・森下(芳)  
池田

11  
/  
12

日下川改修期成同  
盟会要望活動  
戸梶議長・尾崎

14

防災訓練  
戸梶議長・尾崎

森下(雅)・西川  
森下(芳)・藤原  
山中

16

定期監査 森下(雅)

22

臨時会  
森下芳文議員の一  
般質問通告書内容  
の事実関係に關す  
る調査特別委員会  
野村・尾崎

森下(雅)・西川  
山中・戸梶議長

12  
/  
1

経済建設厚生常任  
委員会  
西川・池田

仁淀川広域市町村  
圏事務組合議会  
森下(雅)・野村

23

高知県政150年記念  
式典  
戸梶議長

24

例月現金出納検査  
森下(雅)

26

市町村議会広報研  
修会  
西川・森下(芳)  
池田・藤原

29

仁淀消防組合議会  
尾崎・横山・池田  
総務常任委員会  
藤原・野村・尾崎  
戸梶・山中

振興対策特別委員  
会  
池田・尾崎

森下(雅)・横山  
藤原・戸梶議長

治水対策特別委員  
会  
尾崎・森下(雅)

森下(芳)・池田  
山中・戸梶議長

西川・池田

森下(雅)・横山  
森下(芳)  
戸梶議長

2

日高村地域福祉計  
画策定委員会  
戸梶議長・西川

3

議会運営委員会  
野村・藤原  
森下(雅)・横山  
森下(芳)  
戸梶議長

4

国道33号高知西バ  
イパス全線開通式  
戸梶議長

第32回障がい者の  
日のつどい・第33回  
日高村ボランティア  
まつり  
戸梶議長

9  
/  
16  
日高村議会第4回  
定例会

全員協議会

17  
日高村・佐川町学  
校組合議会  
戸梶議長

20  
日高村地域再生可  
能エネルギー導入  
戦略策定委員会  
西川

21  
例月現金出納検査  
森下(雅)

22  
定期監査 森下(雅)

24  
第4回日高村いき  
いき百歳体操大交  
流会第13回日高村  
高齢者のつどい  
戸梶議長

# 編集後記

令和4年。村民の皆様は新しい年を穏やかに迎えられたことだろう。

令和4年度には、現在進んでいるさまざまな治水対策工事が完成を迎える見込み、との報告を受けている。いよいよ三百有余年にわたる水との闘いに終止符が打たれようとしている。

問題は新型コロナウイルス感染症だ。一旦は収束に向かうように見えた感染状況であったが、オミクロン株の出現で、世界中が騒々しくなってきた。我が国においても確実に感染が広がっている。

村においては、この2月から、3回目のワクチン接種が開始される予定だ。ワクチン接種が進んだとしても、やはり重要

なことは我々の心がけ。三密を避ける、手洗い、うがい、消毒、そしてマスクの着用であろう。

特に注意していただきたいのは受験生である。それぞれの進路に向かって積み重ねてきた努力が、感染症によって邪魔されることなく、花咲くことを願うばかりだ。

本年が良き年となるように村民皆で、さあ、レッツ・寅イ。



令和4年成人式

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月3日(木)午前10時に開会の予定です。

お気軽に傍聴に、お越しく下さい。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言等を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 戸梶 章

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。